

文學士 後藤朝太郎君著

現代支那語學

全一冊
洋裝 大判
紙數 三百頁

並製正價金四拾錢 郵稅金八錢
特製正價金五拾五錢 郵稅金拾錢

本書は單に支那語學そのものを説いてゐるばかりでなく支那文字との關係官話と時文其の方言相互間の對照より支那語と南方諸外國の同族語との比較研究などに至るまで現代の支那語を内外の兩方面から觀察して其の要領を記したるものである。從來我國の語學界に一大缺陷であつた支那語の學術的研究は實に本著に依つて其の端緒が啓かれた譯である。漢語と言はず官話と云はず苟も支那語の研究に就いて趣味を有するものゝ必要書である。

岩村成允君編

北京支那新字典

全一冊
洋裝 三六判
紙數 四百十頁
正價金壹圓
郵稅六錢

文學士 青柳篤恒君著

支那時文軌範

全一冊洋裝四六判上製 紙數三百四十頁
正價金參拾五錢 郵稅金六錢

▲總說○支那時代文の性質○支那時文の現在○支那時文研究の基礎▲支那時文研究に必要な智識の一二○支那本部十八省の異名及其省域○中央官制の主なるもの○地方官制の大要▲支那時文各部門の講說○上諭○國書○奏摺○條約○照會文○告示文○飛概○尺牘○公讀○日記○家訓○章程○合同○履歷書○請帖○護照○滙票○收條○名片▲第四章餘說○附錄講讀練習問題

發兌元 博文館